

## 令和5年度第2回酒田市公民館運営審議会 会議記録

令和6年3月21日(木)  
午前10時00分～11時25分  
総合文化センター412号室

- 出席者 佐藤耕委員、五十嵐勤委員、渡部恵美子委員、  
大滝美樹委員、佐藤純子委員、成澤つるみ委員
- 欠席者 長澤和博委員、加藤千鶴委員、石井大介委員
- 事務局 前田課長、伊藤課長補佐、眞嶋主査兼係長、菅原調整主任、木崎主任、  
庄司主任、工藤主事

- 1 開 会 (事務局：伊藤補佐)
- 2 課長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 協 議

(1) 令和5年度中央公民館主要事業実績について(事務局：眞嶋主査 内容説明)

<質疑応答>

委員 期日・参加者欄に、開催時間の記載もほしい。ターゲット層に合った時間設定になっているか確認したい。幼児ステップ出前講座は確かに人気。

委員 去年の生涯学習支援事業で「楽しいハンドメイド講座」が新しくサークル化したということでそれはとても良かったと思う。あちこちで自治会の婦人部が解散している。メンバーの確保が難しい。そういった人たちの拾い上げをコミセンでできるようにスキルアップ講座などで研修して欲しい。

委員 コミセンの女性の参加は少ない。減少している。要因としては現在、65～70歳くらいまで働くのが当たり前の時代になって、仕事や家庭のことで忙しく自治会の活動までの余裕がないのではないかと。積極的に活動して欲しいが、人集めに苦労している。

委員 自治会活動は容易でない。コミセンでは難しいのでは。仕事や家事、小さい子どもがいる家庭では育児もしなければならず、その上で自治会の活動となるとしたくてもできない人がとても多いのではないかと。

委員 偉人紹介の事業は良いので継続して欲しい。

委員長 中央公民館は各地区のコミセンと連携は取っているのか。

課長 コミュニティ振興会の活動などの所管はまちづくり推進課となっているが、地域づくり・人材育成の面では社会教育課でも関わる。担い手不足など悩みを聞きながら、人と人とのつながりを大切にしたい。社会教育課がそのつなぎ役となる。

## (2) 令和6年度中央公民館主要事業(案)について(事務局:前田課長 内容説明)

### <質疑応答>

委員長 愛ごはん講座の参加者の年代に偏りがあるというのはどの年代層が多くて、どの年代層が少ないのか。

事務局 時間的に余裕のある年配層に参加が偏り、若い方の参加が少なかった。そのため、来年度は若い方も参加しやすいように親子で参加できるような内容の講座も企画検討している。

委員長 伝統野菜を使った料理を作る活動をしている高校があったと思うので、この講座も高校生あたりに呼びかけるなどして、連携しながら次の世代を担う子供たちを育てていければいいのではないかと思う。

委員 映画「弁当の時間」にあったように、遊佐では高校生対象で味噌汁をつくる講座があるという。高価なものを作るとかではなく、生きるために食べるものを作っていくことで自分の今後の生活に繋がっていくと思うような講座であれば堅苦しくなく参加者も参加できるのではないか。

委員長 今年度は幼児ステップ講座が不採択になった園が何園かあったようなので来年度は平等に予算配分の方をお願いしたい。

委員 腰痛講座等。生涯学習まつりに来た人にアンケートを取ってみてはどうか。シニア層に向けた気配りが無い。

課長 ここでは社会教育課の公民館事業についての実績のみしかご報告できないが、他部署でもそれぞれシニア向けの講座等行っている。そういったものも含めて皆様に情報発信しなければと思う。

委員 自治会や地元から離れたところでの交流がしたいとの声もある。

課長 地域のわずらわしさから離れる場の存在が必要かもしれない。

委員 シニア層向けの講座は里仁館ではやっている(有料だが)。ぜひ参加して欲しい。連携事業で文化センターを使っている。令和6年度からは「元気だのう」以外も文化センターを会場に開催する予定。

若い世代の参加が少ないのは里仁館も同じ。中高生ボランティアのかざみどりに協力いただいている。参加した生徒からも好評だった。

施設利活用ということで遊心館や清亀園で親子講座を試してみればどうか。遊心館の庭の作業見学講座をやったことがあるが好評だった。

委員長 遊心館・清亀園の利用の検証とあるが、遊心館の使い方が厳しいという声が聞こ

えてくる。また、こんな形で使えるというような PR などがあればいいと思うがその件についてはどうか。

課長 遊心館については現在限られた団体の方の利用が多い状況だが、令和 6 年度はもう少し、市民の皆さんから親しみを持っていただくために PR の方を実施していく。清亀園については来年度からは予約申請のあった日のみ開館するというので、管理運営に係る経費を少し抑えながら、運営をしていく予定。

委員長 夏休み宿題お手伝い講座の定員は？

課長 30 人

委員 リモートでの講座はあったか

課長 ない。今後は考えたい。

委員 今回の意見はどの程度次年度の事業などに反映できるのか。審議会は予算が決まる前に開催して欲しい。

課長 今回頂いたご意見は、すぐに次年度にできるものや予算的などところで調整すればできるものがあるかもしれないので、そういったものは講座を組み立てていく中で意識しながら今回の意見を取り入れていきたい。令和 6 年度については予算が決まっているのでその中で調整しながらできるもの、できないものを判断してできないものは令和 7 年度に予算化できるよう検討する。

委員 幼児・子供向けの講座が多い。シニア向けの趣味講座的なものが少ない。もっとあってもよい。

課長 どういった需要があるのかを聞いていきたい。

委員 こういった講座の情報、PTA にも欲しい。学校までで止まってしまふことが多い。

委員長 文化センターのパネルが古いので買い替えてほしい。

### (3) その他

特になし

## 5 報告

(1) 社会教育委員の会議 (3/18) の協議内容について (事務局：伊藤補佐 内容説明)

- ・総合文化センター利活用調査 (ニーズ調査) の実施について
- ・総合文化センターのあらたな活用方法について

### <質疑応答>

委員長 アンケートを実施する時期は何月ごろにする予定か。また、文化センターは今まで商業的な利用ができなかったが、今後はそういった使い方をできるようにしていくという理解でよろしいか。

補佐 アンケートの実施時期は要検討する。また、使い方については社会教育委員の会議の中で町なかピアノやコンサートなど自分たちの楽器演奏で使えばいいという意見があったので、そのような使い方を可能にしていけるようにしたい。

委員長 アンケート先はどういったところにとる予定なのか。

補佐 一般市民向け…インターネット（LINE）、公民館利用者向け…利用受付窓口、企業・団体向け…現在担当部署と検討中

委員長 若い人向けのアンケートは。社会教育委員の会議ではどういう意見が出たのか

補佐 ミライニ、学校でとの話が出た

委員 フリマ等お金を取ってやるのか？企業に事務所として通年で貸すのか？イベントスペースとして貸し出すのか？ このアンケートではイメージができないのでわかるようなアンケートにして欲しい。

補佐 完成後、お知らせする。

## 6 その他

特になし

## 7 閉会（事務局：伊藤補佐）